

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
BIM実習 2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	根本 毅			実務 経験	有	職種	設計事務所にて建築設計に従事				
授業概要											
B I M技術において高度な操作・表現するためのプレゼンテーション技法を実習を通して習得します。											
到達目標											
次の 3 点を到達目標とする。①デジタルファブリケーションとは何かを理解する。②実習を通して先端技術を理解する。③先端技術相互の関連を理解し、応用する。											
授業方法											
教科書や配布プリントをもとに実習を中心に講義を進め、授業終了時には必ずデータ提出を行う。正確にモデリングができているか等を確認し知識を深め、共通的な注意事項については講義を通して説明し理解度を深める。デジタルファブリケーションの理解を重要視し、社会の速い変化へも対応できる様、基礎の徹底を図る。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
テキストや保存するための機器はもちろんのこと、授業で配付したプリント等に適宜テキストやプリントにコマンド等は書き込み各自クリアファイル等にまとめ速やかに確認できるようにしておくことを推奨する。授業には集中して取り組み、使用教室のルールは厳守すること。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
はじめてのAutodeskRevit&RevitLTエクスナレッジ											
回数	授業計画										
第1回	基本モデルの活用①										
第2回	基本モデルの活用②										
第3回	基本モデルの活用③										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
建築学科	
BIM実習 2	
第4回	基本モデルの活用④
第5回	基本モデルの活用⑤
第6回	シーツの設定①
第7回	シーツの設定②
第8回	シーツの設定③
第9回	ファミリの作成①
第10回	ファミリの作成②
第11回	ファミリの作成③
第12回	ファミリの作成④
第13回	応用・活用への展開①
第14回	応用・活用への展開②
第15回	応用・活用への展開③